

寅さん歩 その19

バーチャルウォークで

聖火を新国立競技場へ-12



平野 武宏

FWAホームページの「YR・四季の道」バーチャルウォーク コーナーに八柳修之さんのバーチャルウォーク（国内版） 歩いて健康バーチャルウォークのすすめ「沖縄から新国立競技場まで東京オリンピック2020の聖火コース（仮想）1685kmを2020年7月までに歩いてみませんか」が掲載されました。

かつては平野寅次郎の名で映画の寅さんのように全国のウォーキング大会を歩き、世界最大のウォーキング大会 オランダ国際フォーデーズマーチ（4日間で120km）を完歩しましたが、2018年1月に坐骨神経痛を発症し、足の痛みで自由に歩けなくなりました。治療やリハビリを重ね、現在は8~10km程度の散歩まで可能に回復しましたが、歩けない時は例会にも参加出来ず、悶々としていました。こんな時の光明がこのバーチャルウォークの提案でした。バーチャルウォークはリハビリの散歩の距離を累計しバーチャルコースのゴールに向かう、すぐろくのようなもので「ゴールするまでは健康でいなければ」との目標を持つ、前向きな気持ちにさせる取り組みです。

先の長いゴールまで歩けるかの不安もありますが、その時は**駕籠に乗って**（ウォーキングの隠語で交通機関を利用）聖火を新国立競技場へ届けようと気楽に考えました。歩く地域について学びながら思いを巡らすのも楽しいですよ。寅次郎は歩きながら、昔、ウォーキングで訪れた通過した県の思い出や、映画「男はつらいよ」で寅さんが通過した県でマドンナと、どんな恋をしていたのかをお話したいと思います。

2018年10月1日沖縄県辺戸岬をスタートした聖火は沖縄県那覇市から鹿児島県、宮崎県、大分県、福岡県、山口県、広島県、岡山県を経て兵庫県に入り、2019年（令和元年）7月15日現在、スタートから1100km地点（兵庫県西宮市）に到着です。

今後は現在の兵庫県伊丹市、大阪府箕面市・茨木市・高槻市から京都府に入り山陽道（西国街道）の終点の羅生門に向かいます。羅生門は平安京、平城京などの正門で朱雀大路の南端にあったとのこと。現在は「羅生門跡」（写真右）で保存されています。



「羅生門」の名は芥川龍之介の小説、黒澤明監督他の映画、能や日本酒の銘柄にもなっているそうです。

京都三条大橋（1152 k m）からは東海道 492Km を歩いて江戸（東京）へ向かいます。江戸時代でいう「東下り」です。日本橋からバーチャルウォーク東海道五十三次を始めた方々とのバーチャルな出会いを楽しみにしています。道中で寅次郎とすれ違う地点に来た方は是非お知らせください。

〔京都府三条大橋～水口宿（滋賀県甲賀市）〕

1101 K m～1200 K m



写真上は歌川広重（安藤は本姓）の「東海道五十三次」浮世絵です。左は三条大橋（現在の京都府京都市）、右は水口宿（現在の滋賀県甲賀市水口町）です。東海道を京都府三条大橋から現在の滋賀県の大津宿、草津宿、石部宿、水口宿まで歩きます。

寅次郎は 2002 年（平成 14 年）5 月の連休に開催された「関西古都スリーデーウォーク」で大阪府、奈良県、京都府を訪問しています。東京からの夜行高速バスで難波に到着し、4 月 28 日の第一日は大阪大会で暗越・奈良街道コース 35km です。難波宮跡公園をスタートし、黄金に輝く大阪城内から東大阪市を抜けて、弘法大師もここで修業したという急坂の暗峠（くらがりとうげ）を越えました。頂上からは奈良県で奈良平城京朱雀門がゴールでした。



第二日目は奈良大会で第 4 回平城遷都祭 万葉ウォークの 6.5Km です。富本銭の出土地の和歌山九条公園をスタートし薬師寺、唐招提寺、垂仁天皇陵などの万葉の史跡をめぐり、朱雀門（写真右）がゴールの市民ウォークでした。寅次郎、その足で JR 快速で京都に向かいました。ホテルに荷物を置いて東本願寺、烏丸通、四条通、先斗町、祇園、八坂神社と京都市内の一人ウォークで普段着の芸妓さんに出会いました。



第三日目は京都大会で比叡山年輪ウォークです。比叡山坂本駅まで電車で行き、伝教大師（最澄）の生誕地の生源寺から上る飯室山コース

12 km を選びました。ゴールまでの標高差は 600m です。
飯室坂行者道や千日回峰の修行者が歩く道はきつかったですが、
1200 年の歴史が偲ばれる名僧たちの修行の地、清浄な杉木立、
新緑や紅葉の木々、遅咲きの八重桜やシャクナゲで心が清めら
れました。ゴールの峰道広場では延暦寺（写真右）の大僧正も
参加しウォーク記念碑の前で式典がありました。10 年毎の節目
を迎える参加ウォーカーに年輪賞の表彰がありました。
事前に申告、申し込んだ年輪賞 80 歳 12 名、70 歳 47 名、60 歳 42 名、
50 歳 10 名、40 歳 2 名、30 歳 1 名の 114 名が表彰されました。
寅次郎も 60 歳の年輪賞をいただきました。



木の年輪に「人生百年 年輪ウォーク完歩証 あなたの人生の節目を
祝します 60 代耳順証」（写真上左）と書かれていました。裏面には
「比叡山延暦寺 大僧正 小林隆彰書「一隅を照らす」（写真上右）
と書かれていました。これは「最澄」の言葉で寅次郎の還暦の貴重な
記念品となりました。ウォーク参加記念の帽子も「一隅を照らす」の
文字入りでした。60 歳表彰者の中にその後 FWA スタッフになる井上
昭一さんがいたとは知りませんでした。これもご縁ですね。下りは
4 km を歩き、後はバスで京都駅に下りました。
ウォーキング記念碑はウォーキングの発展に貢献された方々を顕彰
する碑ですが、毎年オールジャパン ウォーキングカップ(全国大会
の完歩者)の達成者名簿も納められているとのこと。寅次郎は 2006 年
(平成 18 年)に達成しています。

寅次郎、奈良県には 2009 (平成 21 年) 11 月開催の「第 7 回大和路ま
ほろばツデーウォーク」にも参加、いにしへの歴史と文化の都を歩
きました。寅次郎の新婚旅行[1971 年(昭和 46 年)]は京都・奈良・神
戸なので思い出の地です。
スタート前に朝日新聞記者にインタビューを受けた寅次郎、いろい
ろの質問に答えましたが、夕刊での寅次郎のコメントは「史跡を楽しん

で歩きます」の1行でした。

この大会で偶然に出会ったF W Aの女性会員が大会後、病で亡くなるという悲しい思い出が残る大会でした。

映画の寅さんは1969年(昭和44年)8月公開の第1回作「男はつらいよ」で奈良県に登場。父親と喧嘩し家を飛び出し20年ぶりに柴又に帰った寅さん、会社上司から勧められた妹さくらのお見合いに同席、ぶち壊し又家出。奈良東大寺の二月堂で柴又帝釈天の御前様(笠智衆)と幼馴染の娘 冬子(光本幸子)と出会い、寅さんの恋が始まります。寅さんの恋の原点です。冬子たちと柴又に戻り、さくらと裏の印刷工場に勤める諏訪博(前田吟)との恋の指南役に失敗しますが、結果オーライで二人は結婚します。結婚式に博の父(志村喬)と母が北海道から出席、その挨拶は泣かせます。ラストシーンは失恋して渡世人に戻った寅さんが京都府の天橋立に登場します。



T Vから映画化された「男はつらいよ」は笑いながら泣かせる作品です。第1作の寅さん、少し乱暴者の面が強めに出ていますが・・・

1987年(昭和62年)12月公開の第39作「男はつらいよ 寅次郎物語」では奈良県吉野の宿を訪れています。急死した仲間の子、秀吉が柴又に来ます。寅さん、この子の名付け親です。母親も行方知れずと聞き、秀吉と母親探しの旅へ。吉野町の宿屋で急病になる秀吉、隣の部屋にいた恋人にふられた隆子(秋吉久美子)に助けられます。いつのまにか三人は擬似家族で「父さん」「母さん」と呼び合う仲へ。伊勢志摩で母親を見つけ秀吉を渡します。隆子とお互いに「女断ち・男断ち」して再会を約すとの別れの言葉が粹。「生きていてよかった」と命の大切さを伝える作品です。



京都府には1969年(昭和44年)11月公開の第2作「続 男はつらいよ」で登場。旅先の京都で寅さんの恩師と娘の夏子(佐藤オリエ)と出会い、夏子と京都にいるという寅次郎の生みの母親(みやこ蝶々)を探し、再会しますが寅さん、考えていた母親のイメージと合わないで柴又に帰ってしまいます。この作品では泣きの寅さんです。母親と会いショックを受け泣き崩れ、恩師が亡くなり泣き、御前様に「こんな時こそ、しっかりしろ」と言われ、恩師の葬式を取り仕切ります。夏子と寅さんがお世話になった医師の恋仲を知り、とらやの2階で泣く寅さんの姿が気の毒になります。



夏子は新婚旅行で来た京都で寅さんが生みの母と楽しそうに会っているのを見て安心します。寅さん 38 歳の時のお話です。

1982 年（昭和 57 年）12 月公開の第 29 作「男はつらいよ 寅次郎 あじさいの歌」では京都の高名な陶芸家の家で働いていて出会ったかがり（いしだあゆみ）が再婚の夢に破れ、失意のまま故郷の丹後へ戻ります。心配して丹後を訪ねた寅さん、最終の船に乗り遅れ、かがりの家に泊まります。子供を寝かせた、かがりと二人きりで酒を飲み、酔ったふりをして、眠れぬ夜を過ごして別れます。その後、柴又を訪れた、かがりからデートの誘いを受け、鎌倉へ行きます。恋の顛末は神奈川県のお話します。

大阪府には 1981 年（昭和 56 年）8 月公開の第 27 作「男はつらいよ 浪花の恋の寅次郎」で登場。瀬戸内の島で出会った芸者のふみ（松坂慶子）と大阪で再会、天王寺や生駒山が舞台になっています。上方芸者のマドンナや通天閣の見える安宿の若旦那の関西弁と寅さんの江戸弁との軽妙かつユーモアあふれるやりとりも見所です。生き別れた「ふみ」の弟探しは病気で亡くなっていたという悲しい結末で、「ふみ」は酔って寅さんの膝に泣き崩れ、朝に置手紙で去って行きます。柴又に結婚を報告に来る「ふみ」の心境には考えさせられます。芸者という今までにない寅さんのマドンナだからなのかな？と思いました。みじめな気分させられても、旅先で「ふみ」を訪ね、結婚を祝うお人よしのやさしい寅さんです。



スタートから 1200km 地点に到着したら、次の愛知県名古屋市までのコースを紹介します。途中経過は「寅さん歩」の中でお知らせします。

次回は 官公庁の食堂めぐり-21 豊島区役所 です。

平野 寅次郎 拝